

何れも... 此の... 力も...
 則ち... なら...
 舟... 娘...
 作者の... 意...



東犬子速

大の...

大つゑ



大つゑ

大つゑ



東犬子

新
文
大津あぶしし月録

○ 関化こし 一	○ 所せくし 二
○ 千金舟 三	○ くらやま 四
○ けちとし 五	○ めくらぐし 六
○ くらく 八	○ あめ乃よ 九
○ ちんく 十	○ てんぐとし 十一
○ ちんぐのちん 十二	○ ちんぐくや 十三
○ ちんぐし 十四	○ ちんぐのちん 十五
○ ちんぐのちん 十六	○ ちんぐのちん 十七



新
 文大津あぶし月報

○ 陶化さ了一	○ 所産し二
○ 千金丹三	○ くらや子四
○ 今友とし五	○ めくらあし六
○ くらくハ	○ あめらよ九
○ まつやく十	○ てんがあし十一
○ くらあし十二	○ こくらくや十三
○ 魚産し十四	○ 星のあし十五
○ くらあし十六	○ くらあし十七

○車傳 <small>クルマツト</small> 十六	○娘 <small>むすめ</small> 十九
○大 <small>おほ</small> 廿	○馬 <small>うま</small> 廿一
○ゆ <small>ゆ</small> 廿二	○大 <small>おほ</small> 廿三
○人 <small>ひと</small> 廿四	○登 <small>のぼ</small> 廿五
○お <small>お</small> 廿六	○吉 <small>きち</small> の <small>の</small> あ <small>あ</small> 廿七
○は <small>は</small> 廿八	○大 <small>おほ</small> 廿九
○女 <small>め</small> 三十	○揚 <small>たか</small> 州 <small>しゅう</small> 忠 <small>ちゆう</small> 多 <small>た</small> 三十一
○東 <small>とう</small> 三十二	○お <small>お</small> 三十三
○こ <small>こ</small> 三十四	○多 <small>た</small> 三十五
○あ <small>あ</small> 三十七	

一 下 中 上 一

二 下 中 上 二

三 下 中 上 三

四 下 中 上 四

五 下 中 上 五

六 下 中 上 六

七 下 中 上 七



平金舟

「おんさんさんおんさん」

あづちまぢり

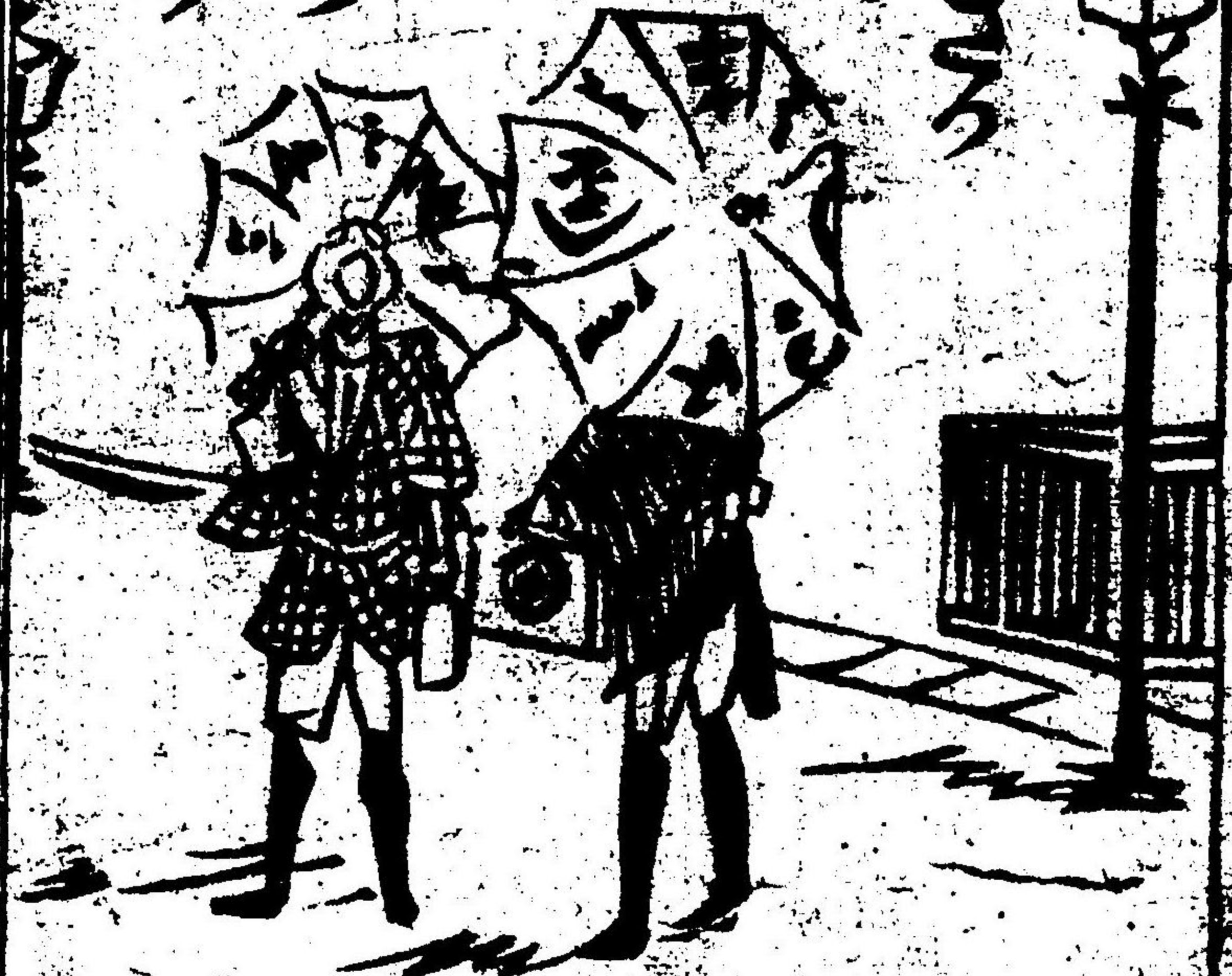
のぶやまかぢん

のせんせんたん

だういひるさん

のこいもはら

いんまひん



あやこはつづつ

りまひんやぢり

だんせさあやくつかえ

まごつまらおんせらにの

むしとこゑをろくあたり

みだりとはきぢぢぢ

かうりのがさみきふんがぢん

さびでぢぢぢぢぢぢ

大の

はんけりたる

あふあむらぎもち

のむらのかせらの

むらさめかあ

あふをーよう

かんいよきんでかふや

あだいのまううせせん



屋 楚 園 木 並



ふらげりののまんぢうふ
ふおたらうはあまあ
とうまのやのあせらあ
あるあんだらまあま

やあやうだんあまあ
あーのくああえだ
あんあしただの

あいのあうあうあ



あいのあうあうあ

「オウガキ」
大いなる

「だうどをゆるの

くらうくらうのわ

らふをんだい

そのあそび

まよかいだ

まよふあうわんがみ

てんぐやちりまうのあめ



くらうくらうの

かたむね—wasaちり

のたまをさげまち—よ

うらあさくくらうかみ

えあうてなふひかみかむ

うあふまむひくうしむ

まゆぐだらあさでだ

かゆやたらあさでだ



たのしみ

そでまきの
大つきの

そでまきのなま

そでまきのなま

そでまきのなま

そでまきのなま

そでまきのなま

そでまきのなま

そでまきのなま



たのしみ
そでまきのなま

そでまきの

そでまきのなま

そでまきのなま

そでまきのなま

そでまきのなま

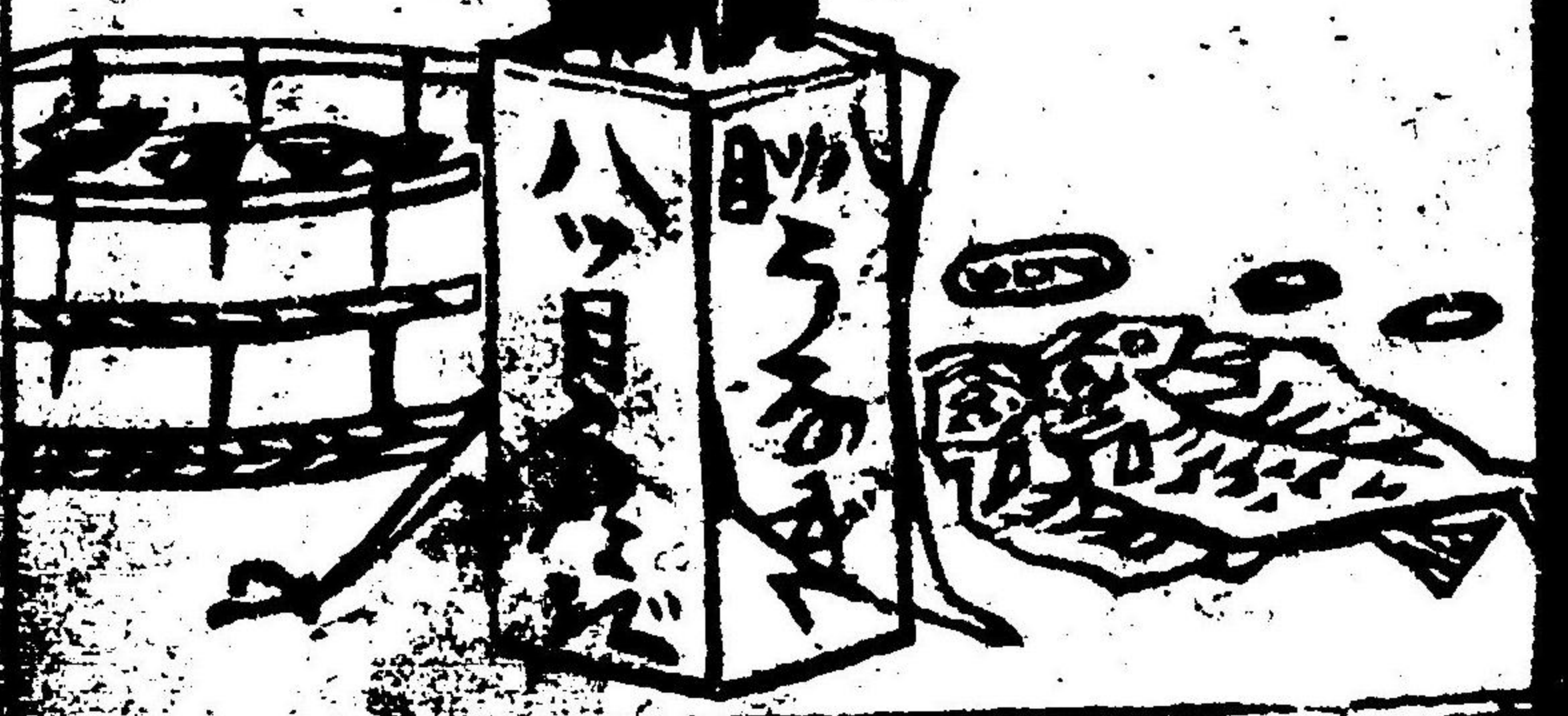
そでまきのなま

此の世に生るる者も
 世に生るる者も
 世に生るる者も
 世に生るる者も

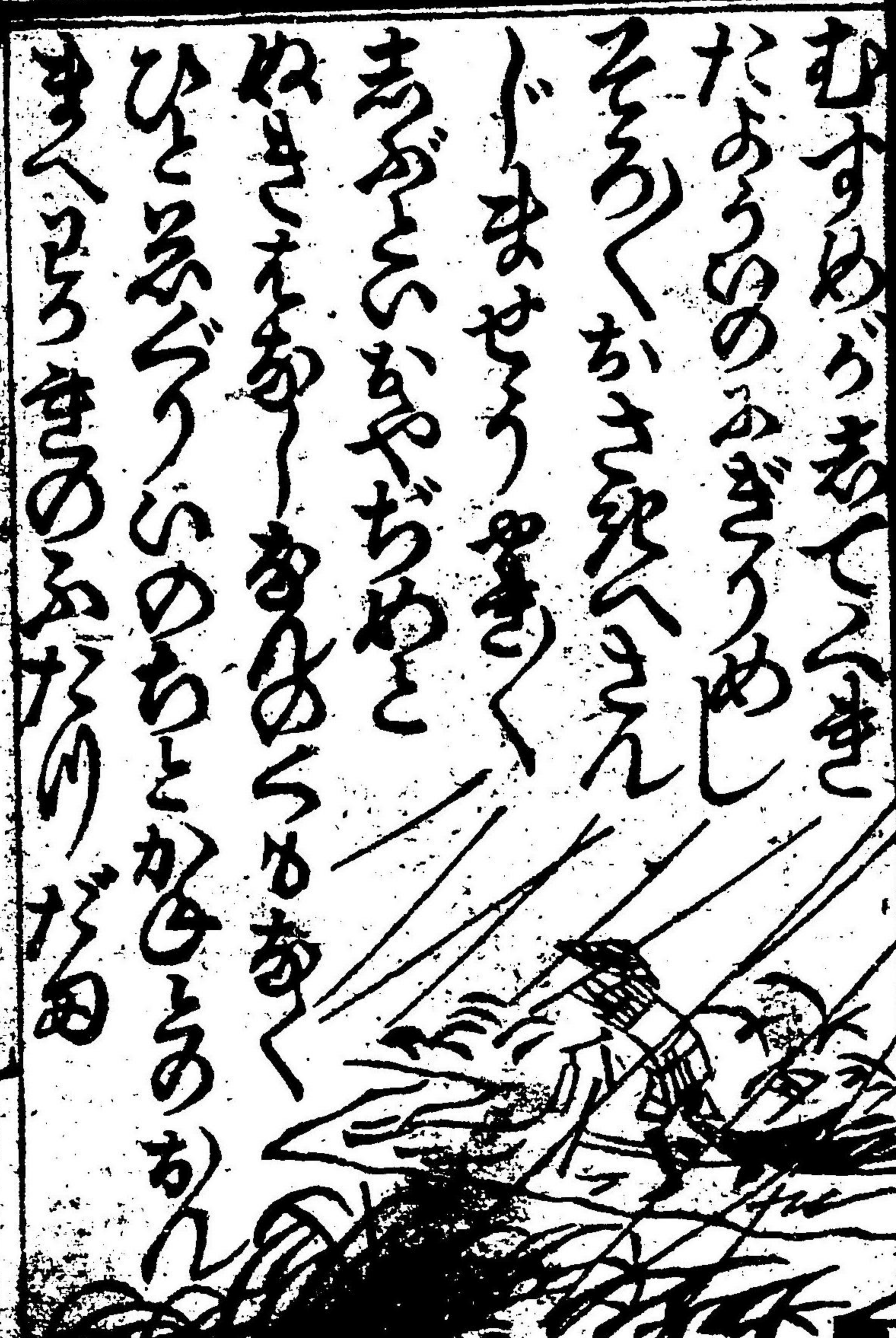


「世に生るる者も
 世に生るる者も」

此の世に生るる者も
 世に生るる者も
 世に生るる者も
 世に生るる者も
 世に生るる者も
 世に生るる者も
 世に生るる者も
 世に生るる者も



たつた



おめのお

おめのお

おめのおおめのお

おめのおおめのお

おめのおおめのお

おめのおおめのお

おめのおおめのお

おめのおおめのお

おめのおおめのお



おめのおおめのお

おめのおおめのお

おめのおおめのお

おめのおおめのお

おめのおおめのお

おめのおおめのお

おめのおおめのお

おめのおおめのお



大徳寺

万葉の
ちりきり

くさくさくさくさくさくさくさくさくさく
くさくさくさくさくさくさくさくさくさく
せんたしおじやかん
やんやんやんやん
あつたつたつたつたつたつたつたつたつた
だるくさくさくさくさくさくさくさくさく
ままあつた



あかひつたつたつたつたつたつたつたつたつた

むらむらむらむらむらむらむらむらむらむら

とつとつとつとつとつとつとつとつとつとつ

かかかかかかかかかかかかかかかかかか

左アアアアアアアアアアアアアアアアアア

まひまひまひまひまひまひまひまひまひまひ

だじだじだじだじだじだじだじだじだじだじ

まんまんまんまんまんまんまんまんまんまん



大分県

くまがたの
たづね

かんたうおまのゆめ

あまのこいしあまのこ

のせんかんていせいの

かきかきあまのこ

だうたうあまのこ

あまのこ

あまのこあまのこ

あまのこ

あまのこあまのこ

あまのこあまのこ

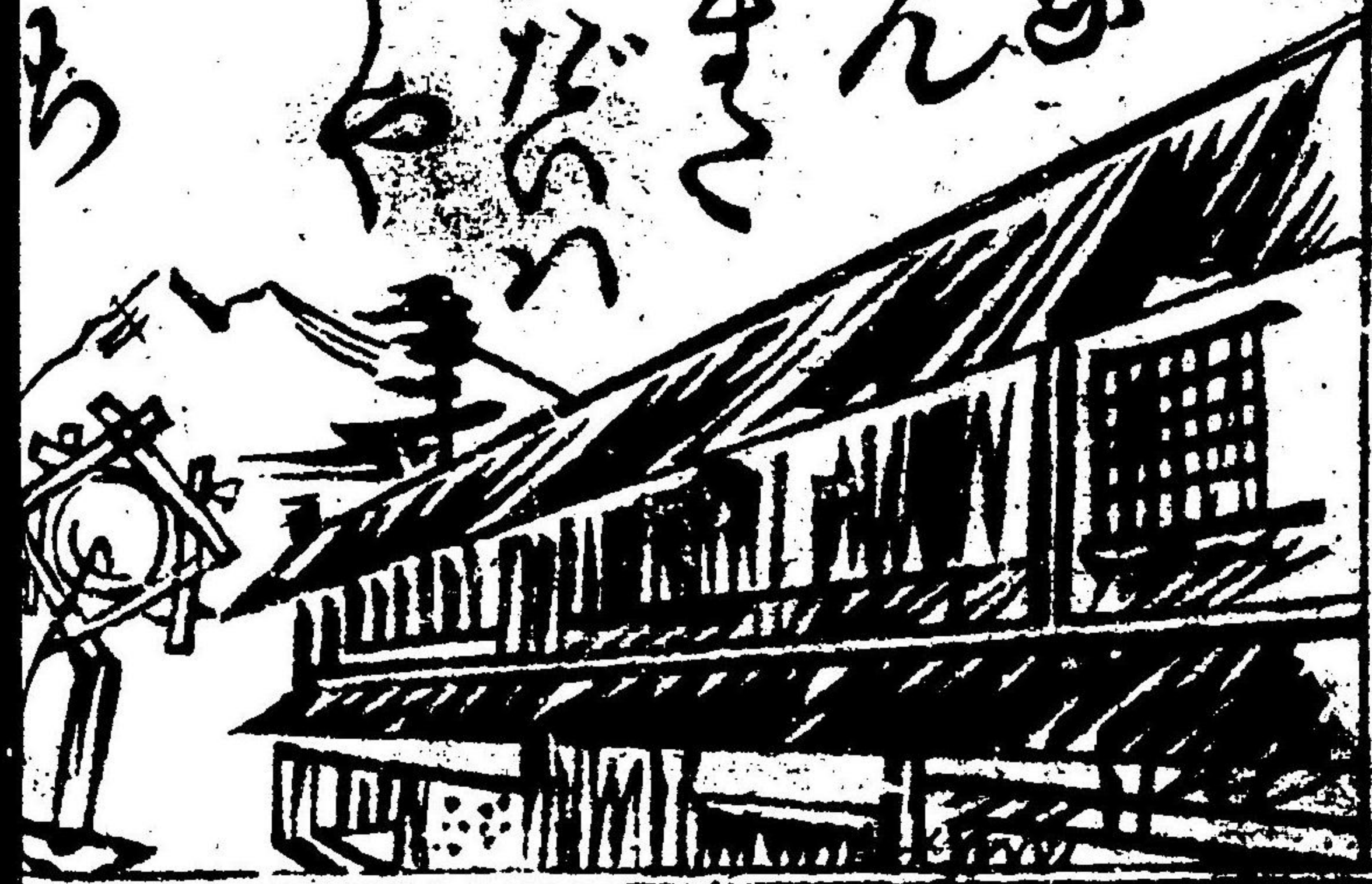
あまのこあまのこ

あまのこあまのこ

あまのこあまのこ

あまのこあまのこ

あまのこあまのこ



かたはるはるの

あそくあそびがしら

わがめんじふのあそび

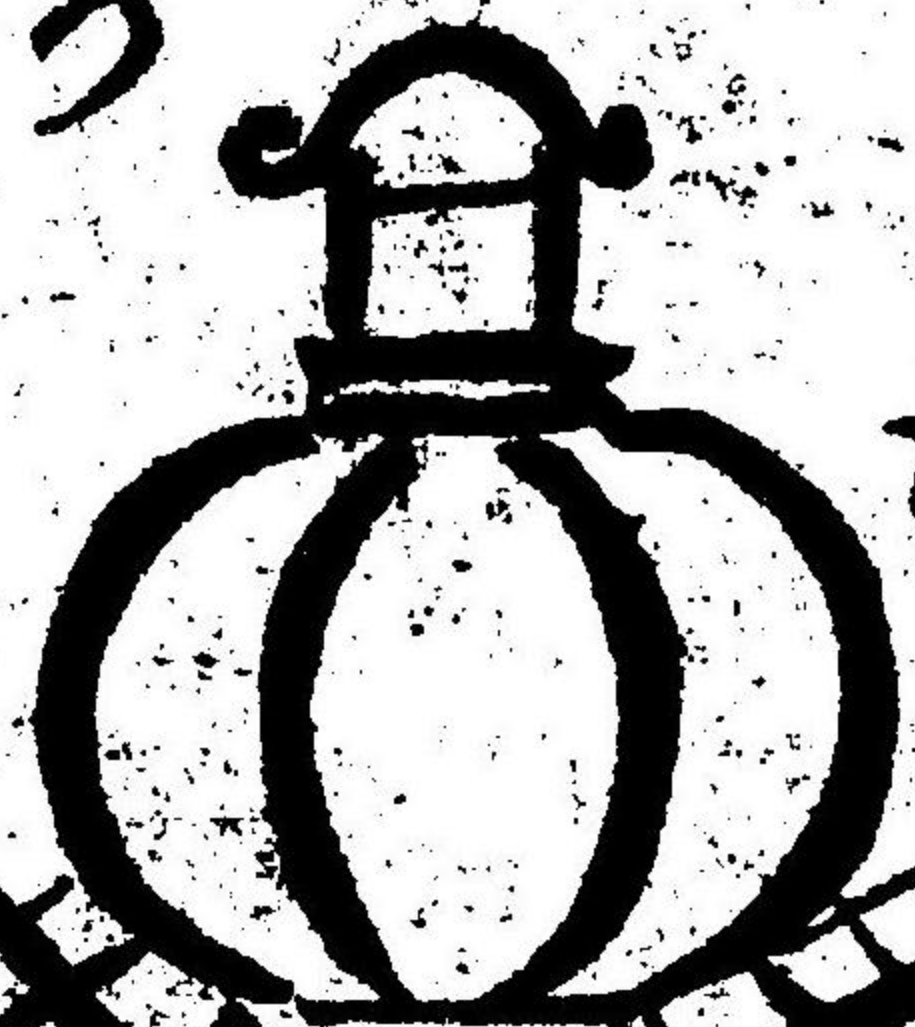
あそびの

ちり入あそび

まねえあそび

とどろきあそび

そりくあそび



ひつぎあそび

あそびのあそび

あそびのあそび

あそびのあそび

あそびのあそび

あそびのあそび

あそびのあそび

二人のせうねんあそび



「おめいおのまん
おめいおのまん
ねおめいおのまん
おめいおのまん
おめいおのまん
おめいおのまん
おめいおのまん
おめいおのまん
おめいおのまん
おめいおのまん」



「おめいおのまん
おめいおのまん
おめいおのまん
おめいおのまん
おめいおのまん
おめいおのまん
おめいおのまん
おめいおのまん
おめいおのまん
おめいおのまん」

けしあはるなちげんしの
 けしあはるなちげんしの
 かー
 くんおあはる
 りあはるなちげんしの
 だあはるなちげんしの
 しあはる
 よあはるなちげんしの



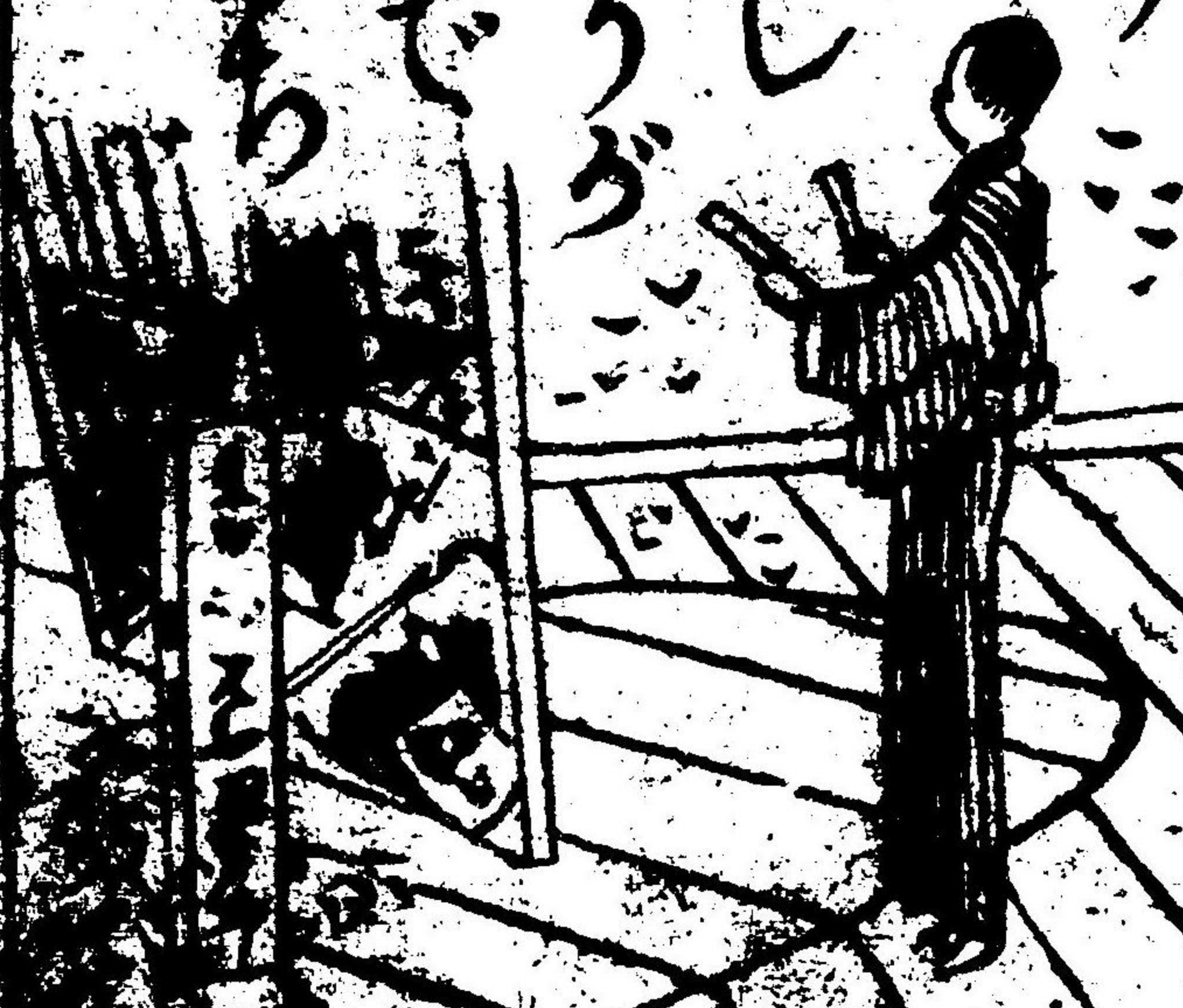
けしあはるなちげんしの
 けしあはるなちげんしの
 けしあはるなちげんしの
 けしあはるなちげんしの
 けしあはるなちげんしの
 けしあはるなちげんしの
 けしあはるなちげんしの
 けしあはるなちげんしの



「世のあつとちやうぜんふ
えだしきぶおろしくか
らひやさしくもく
しやうのてん川たしか
らひやさしくもく
しやうのてん川たしか
ひやうまん一のたふ



かんしの
かえさつが廿四あう
くくかう
しんぐたきあし
せうしぐくかあし
かんぶんちあし
あふぶのたあし
ハズナ



大正十一年

「茶の味」

茶の味は

茶の味は

茶の味

茶の味は

茶の味

茶の味は

茶の味は

茶の味

茶の味は

茶の味は

茶の味は

茶の味は

茶の味は

茶の味は



一から十まで

あをのぞいせうこせう

かとうだせいのり

市らの峰仁こせう

うぬきう

三七のふたうで

かきまうとらげらう回らう

あきあき



みづのまけや村

六甲の八百やう

かきまうでかつぬふ

八兵衛あかさよ

あきあき

かきまうあきあき

あきのあき

十から



あきあき

あき

朝の光の中をゆく
 人々の声はしるしの音
 あつたはあつたでいふ
 せびくまの音はあつた
 あつたはあつたでいふ
 はあつたはあつたでいふ
 さあつたはあつたでいふ



ひたひたの光の中をゆく
 人々の声はしるしの音
 あつたはあつたでいふ
 せびくまの音はあつた
 あつたはあつたでいふ
 はあつたはあつたでいふ
 さあつたはあつたでいふ



おきめぐし
 南の島のむすめ 伴物花
 まるの燈りあこぎあ
 きんぎょのこころ
 しめがわりいづる
 おきめのむすめ
 うらたてはるる
 むすめあけくら



舟おとく 車籠のむすめ
 のせいづるあちんあ
 むすめをさるふゆく
 けしもり 半の娘
 たまてのさ
 やるをえむすめあ
 ふめをふらつくま
 たぐてをれあらぶま



きんぎょ

あまのついでにきんぎょのさか

とすのけしきりてはまはる

はめらお花とちりぎみの

あねみやまおんせ

はらりぬまうま

もんぎょちりみやん

ふけとあまの



きんぎょのさか

のさか

あまのついでにきんぎょのさか

ひまのついでにきんぎょのさか

あまのついでにきんぎょのさか

あまのついでにきんぎょのさか

あまのついでにきんぎょのさか

あまのついでにきんぎょのさか



多んげんさぎ

「此のおとがらくへん
とてと婦人とのまぢぢかひ
とがたゝるおもひし
ありさへつむしやう
まふまふとけやまの
くまのまぢぢかひ
まふまふとけやま



しやまへんやうまのてつて
てまふまふ

まふまふとけやま

まふまふとけやま

まふまふとけやま

まふまふとけやま

まふまふとけやま

まふまふとけやま



おむつをばい

「まがよくなむだま
きりぐあひニスバニヤの
やまぬちもーんぞ
ニカウらちこしく
あやうがちつこさや
ちんねんちまみ
ひらきーひらき



みるむづれぐあひ

百あんあじいんこび
ひらきちりあひ
ステレシヨレまいび
産つひんとあつね
なままーとあひの
むらねちりあひ
だてていあひ



我々夫大よむ

あつるあふ人頼むらげんぞ

てつがなけ踏むまんと

おほれあつるあふ人頼むらげんぞ

さむらひあつるあふ人頼むらげんぞ

平治とんあつるあふ人頼むらげんぞ

きつてあつるあふ人頼むらげんぞ

とんぞあつるあふ人頼むらげんぞ



あつるあふ人頼むらげんぞ

あつるあふ人頼むらげんぞ

あつるあふ人頼むらげんぞ

あつるあふ人頼むらげんぞ

あつるあふ人頼むらげんぞ

あつるあふ人頼むらげんぞ

あつるあふ人頼むらげんぞ

あつるあふ人頼むらげんぞ



八坂の神

草

何とてさし入る人
 神あるところ
 やくあはれ
 がくかん
 四神せん
 五神ある
 六神
 七神

七神ある
 志多るが八神
 せん
 神ある
 あらし
 くら



教師のてんごう

海はくもく
しりたおるいひ
あきらん—
あよみよこあし
ゆかたやふい
まやくたのみむ
らなぬりたな



かわちのなるち
やいほにはりさく
八の字かきん
くついのたか
さやくのま
いへさひ
まてしめと梅子



かぶろ
きりぎりす
あひる
あひる

あひるのあひるのあひるのあひる

あひるのあひるのあひる

あひるのあひるのあひる

あひるのあひるのあひる

あひるのあひるのあひる

あひるのあひるのあひる

あひるのあひるのあひる



あひるのあひるのあひる

あひるのあひるのあひる

あひるのあひるのあひる

あひるのあひるのあひる

あひるのあひるのあひる

あひるのあひるのあひる

あひるのあひるのあひる

あひるのあひるのあひる



おのれは

あまの

ひけもぞいしほくち

接をやりてまの

こゑをうらひ

あゆみちちゆ

のちよふもあはれ

くさくさ

あまの



あまの

むねの

あつち

あまの

あまの

あまの

あまの

あまの



本づく
つねに
まよひ
あまの
たらの
かうの



あまの
まよひ
あまの
たらの
かうの
あまの
まよひ
あまの
たらの
かうの



ちぢんし
一葉のふりたるのまゝさへひ
舞のまゝよりゆふぐさ
あつとあつとあつと
あつとあつとあつと
ひんがしあつとあつと
たるとあつとあつと
他SOME



ちぢんしあつとあつとあつと
ちぢんしあつとあつとあつと
あつとあつとあつと
あつとあつとあつと
あつとあつとあつと
あつとあつとあつと
あつとあつとあつと
あつとあつとあつと
あつとあつとあつと
あつとあつとあつと



か
せ
ら
い

ア
イ
ウ
エ
オ
カ
キ
ク
ケ
コ
サ
シ
ス
セ
ソ
タ
チ
ツ
テ
ト
ナ
ニ
ネ
ノ
ハ
ヒ
フ
ヘ
ホ
マ
ミ
ム
メ
モ



カ
キ
ク
ケ
コ
サ
シ
ス
セ
ソ
タ
チ
ツ
テ
ト
ナ
ニ
ネ
ノ
ハ
ヒ
フ
ヘ
ホ
マ
ミ
ム
メ
モ



カ
キ
ク
ケ
コ
サ
シ
ス
セ
ソ
タ
チ
ツ
テ
ト
ナ
ニ
ネ
ノ
ハ
ヒ
フ
ヘ
ホ
マ
ミ
ム
メ
モ

あふあふ

あふあふとたちのらて

あふあふとたちのらて

あふあふとたちのらて

あふあふとたちのらて

あふあふとたちのらて

あふあふとたちのらて

あふあふとたちのらて



あふあふとたちのらて

あふあふとたちのらて

あふあふとたちのらて

あふあふとたちのらて

あふあふとたちのらて

あふあふとたちのらて

あふあふとたちのらて

あふあふとたちのらて



あふあふとたちのらて

東京

町ぐし

おまきとろり〜yama GSS

町ぐし〜きよてらみきしと

おんごうおたるたま町

ひとぢきぢののど

あ〜ちんごまじや

志由びあがまのS1

あ〜の〜りよ〜る〜る



ありあ〜る〜あ〜り

くせつおら〜る〜る

ちんごみんごう

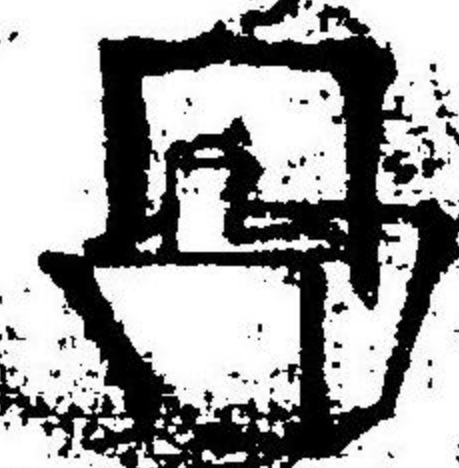
あ〜あ〜の〜ひあ〜して

ゆ〜あ〜はあ〜な〜ら〜う〜ひ〜あ〜ら〜う

ああおせなす〜り〜で

た〜ら〜ふ〜あ〜ん〜する〜か〜ら〜し〜ま〜で〜ら〜

と〜こ〜お〜し〜ま〜す〜あ〜ま〜ら〜ら〜あ〜ら〜る〜小〜町



あらま
 けんく
 ちのたのびていかになると
 おらんがさうやうのしおんち
 とちのひひあめのこと
 ままじいあふなり
 ていしあひあかると
 おあうたんだ
 もくきあひいし



えトめり
 きがつたあめあめ
 やつちひ
 ち
 みあれたの
 おうげで
 ちのあめ
 くらあめ



ちんすねえい
 ちんすねえい
 ちんすねえい
 ちんすねえい
 ちんすねえい
 ちんすねえい
 ちんすねえい
 ちんすねえい
 ちんすねえい
 ちんすねえい
 ちんすねえい



ちんすねえい
 およのめんとて
 あつひつ
 ビョットユめんを
 たちまもらふ
 あつひつあつひつ
 あつひつあつひつ
 あつひつあつひつ
 あつひつあつひつ



新編

よもぢいぢい

なまのさか

あまのの娘十五

かぢいぢいぢいぢい

むおぢいぢいぢい

ぢいぢいぢい

あまのぢい



あまのぢいぢいぢい
あまのぢいぢいぢい
あまのぢいぢいぢい
あまのぢいぢいぢい
あまのぢいぢいぢい
あまのぢいぢいぢい
あまのぢいぢいぢい
あまのぢいぢいぢい
あまのぢいぢいぢい
あまのぢいぢいぢい



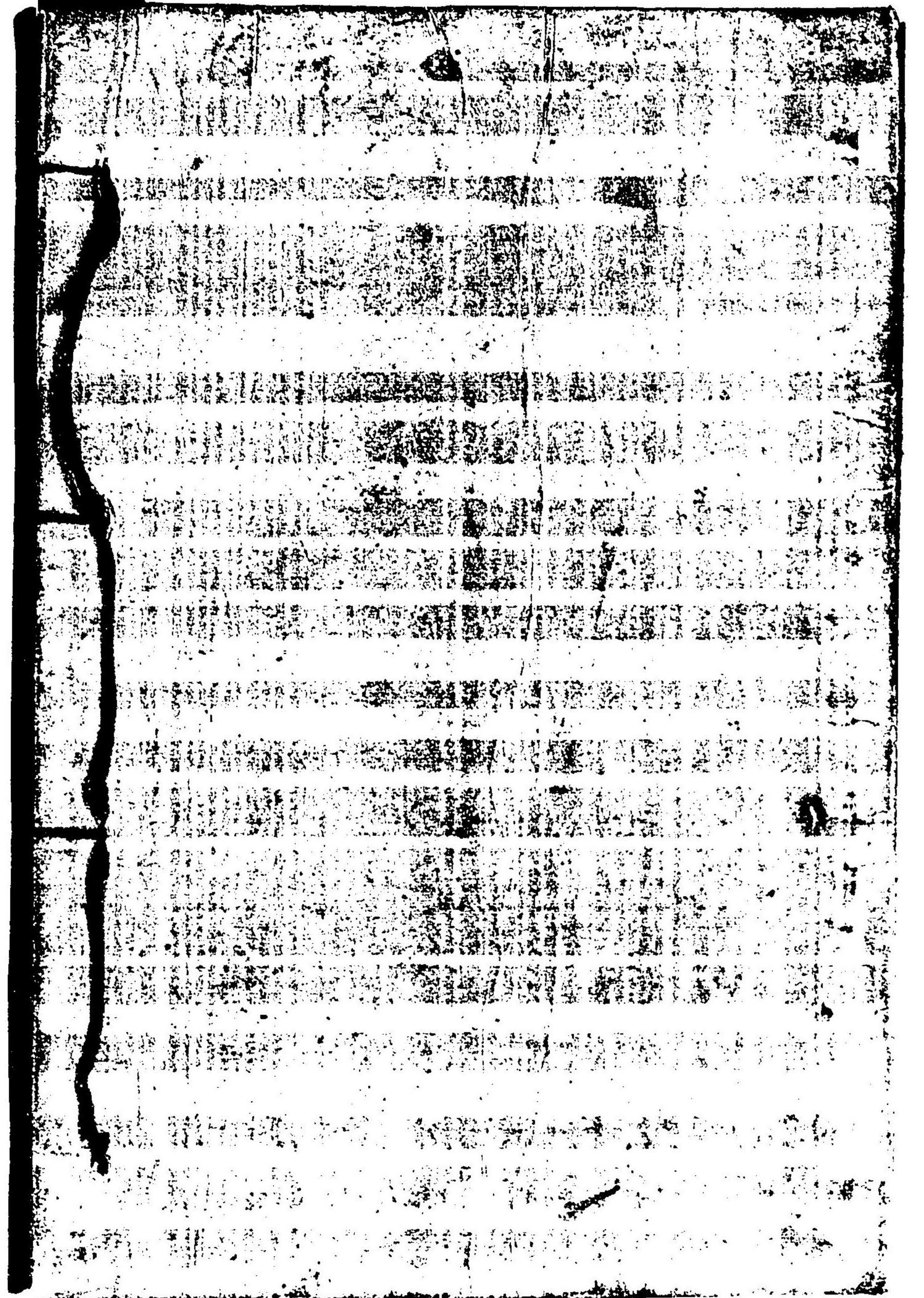
あまのぢいぢいぢい



内
四月二日
津石

居
法
人

内
四月二日
津石



特58
995

074428-000-9

特58-995

流行大都急ぶし

木村 某 / 刊

M16

CEI-1680



特58

995